

森永機械工業 株式会社

- ▶対象類型 精密加工
- ▶事業類型 小規模型（設備投資のみ）
- ▶主たる目的 技術革新、生産性向上

短納期・小ロット生産体制確立及び 生産性向上のための最先端複合機導入



- | | |
|---|---|
| 2 | 1 |
| 3 | |
- 1／よりスピーディーで高精度な加工のために導入した複合加工機。
 - 2／複数台の加工を1工程に集約でき、加工精度、加工能力ともに大幅に向上。
 - 3／短納期・多品種少量生産を主力に部品を製造する工場。

最新設備の導入で、納期短縮と高精度加工の両ニーズに対応。

森永機械工業は食品機械や産業機械の部品を製造。リーマンショック後は、量産品の製造から、オーダーメイドでの短納期、多品種少量生産の部品製造に主力をシフトしてきた。こうした中、受注先からの、さらなる短納期化や高度な加工への要請に対応するため、最先端の横型複合加工機を導入した。

旋盤とマシニングを備えた新しい複合加工機により、従来設備に比べて▽加工領域が大きい▽作業前の確認や段取り作業が少なく、済む▽取り付け工具が多い—などの点が改善。従来は複数の従業員が複数の設備で対応していた加工を1台に集約できるな

どスピードアップを図ることができ、納期短縮につながった。また加工範囲が10倍以上拡大し、加工精度や加工速度も大幅に向上。複雑・高精度な付加価値の高い加工が可能となり、生産性も高まった。さらに新しい加工機によって、会社全体で対応できる加工の全体量が底上げされ、従来設備で対応していた加工についても時間短縮が図られた。強みである短納期・小ロットでの部品製造分野では、得意とするステンレスの小物部品で優先的に見積もりを求められるなど、他社との差別化、ブランド力の向上につながる効果も現れている。

注目すべき 成果

これまでできなかった加工が可能に。

加工範囲が大きく、高精度な設備の導入により、受注・製造できる部品の幅が広がった。ニッチな部品の要望にも迅速に対応でき、他社にはできない小ロット品製造分野で、さらに強みを発揮できるようになった。

注目すべき 成果

新しい設備が刺激となり、社内の活気が上がる。

設備の更新が10年以上なかった現場が新しい加工機に接することで、最新の加工技術の進歩を知ることができた。それが従業員にとって刺激となり、技術的チャレンジに意欲的な雰囲気も生まれてきている。

今後の展望

小・中ロット品での強みを、さらに高める。

従来設備でできない仕事にも対応可能になったことを生かし、来たる受注は断らずに受け切ることで、さらに仕事の幅を広げ、小・中ロット品に短納期で対応するという強みに、さらに磨きをかけていく。

ものづくり専門員から一言

「最短で」に応える スピードが付加価値。

「設計後、短時間で装置を可動したい」など、納期の短さに最大の付加価値を求める顧客に対応するための設備投資。より高度な加工への要請とも両立しながら、自社の強みを高めるための課題解決を図った。

こんな会社です！



取締役
森永 直樹さん

「できます！」と言える、 スピードとレスポンスが鍵。

昭和30年ごろに鍛冶屋として創業し、その後は量産品の製造、そして近年は短納期・小ロット多品種の部品製造と、時代に対応し、量から質の仕事へと転換しながら機械部品を製造しています。お客様から依頼を受けた時、すぐに「できます」という返事を返せるかどうか、弊社の強みを高めていく重要な要素だと考えています。本事業で高まった加工のスピードや精度はもちろん、これまでの受注で蓄積してきたデータやノウハウをフルに活用し、納期や見積もりの作成も含めて、すぐに提示できるレスポンスの早さも高めていきます。

森永機械工業 株式会社

代表者／代表取締役 森永 泰造
設立／昭和60年（1985年）9月
資本金／1,000万円
従業員数／3人
事業内容／切削加工
〒912-0026 大野市庄林22-12
☎ 0779-66-0402 FAX.0779-65-6109
[E-mail] morinaga@angel.ocn.ne.jp



製造している食品機械や産業機械などの部品。



本社・工場